

## 令和5年度（追浜高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	機器の管理を含め、電子情報の適切な取扱いに努め、個人情報流出等の事故を未然に防ぐ。	A(良好) 定期テスト終了後1週間シュレッダー使用禁止とし、誤廃棄防止を徹底した。令和6年度も継続して取り組みたい。
わいせつ、セクハラ行為及びパワーハラスメントの防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	A(良好) 令和5年5月に啓発点検資料による自己点検を含む研修を行い、職場のハラスメント防止に対する職員の意識向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、適切な指導を心がけ体罰等不適切な指導の徹底防止を図る。	A(良好) 令和5年7月に啓発点検資料による自己点検を含む研修を行い、不適切な指導の防止を図った。 体罰・不適切な指導に関して、管理職から職員打ち合わせや職員研修会時に繰り返し注意喚起を行った。
適正な経理処理	私費会計の適正な執行についての共通理解を深め、チェック体制の徹底を図り、私費会計に係る事故を未然に防止する。	A(良好) 私費会計については私費会計事務処理の手引きに従い、適正な執行に努めた。 県財務事務調査でも特に重篤な指摘はなかった。
業務執行体制の確保	風通しのいい職場環境を構築し、職員間で常に情報を共有・業務確認できるような体制づくりに取り組む。	A(良好) 毎月1回以上の不祥事防止研修会を実施した。また、職員主体の研修会を実施し、当事者意識を高めることにつなげた。令和6年度も継続して取り組みたい。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止	交通法規を守り、交通事故の発生を未然に防止し、スピード違反、酒酔い、酒気帯び運転を根絶する。	A(良好) 特に重篤な交通事故・法令違反は起こらなかった。令和6年度も継続して取り組みたい。
服務規律遵守意識及びコンプライアンス意識の向上	「公務員・社会としてあってはならない非違行為の防止」を重点項目とし、公務員としての自覚を常に堅持し、社会人として法の遵守を徹底し、すべての校務外非行を未然に防止する。	A(良好) 4月当初の職員会議で全職員に対し意識啓発・注意喚起を促すとともに、折に触れて管理職より服務規律の徹底指導について講話を行い、公務員としての使命、職責の再確認を行った。令和6年度も継続実施していく。

部活動事故防止	部活動における事故を未然に防止する。特に熱中症への対応方法、AED研修等を徹底する。	A(良好) 特に重篤な事故等はなく、AED研修会も予定通り実施し、危機管理を徹底した。令和6年度も継続して取り組みたい。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	成績処理、進路関係書類作成に適切な点検体制を整備し、全職員が使命と役割を自覚してミスのない業務を行う。	A(良好) 定期試験ごとに点検・チェック体制の再構築と複数職員によるマニュアルに即した手順の再確認を行った。令和6年度も継続してチェック体制を改善し、事故のない業務遂行に努める。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に適切な点検体制を整備し、全職員が使命と役割を自覚してミスのない業務を行う。	A(良好) 入学者選抜業務の点検・チェック体制及びマニュアルに即した手順の再確認を行った。令和6年度も継続してマニュアルを改訂し、事故のない業務遂行に努める。
職場のハラスメントの防止	職員が能力を十分に発揮できるような良好な勤務環境づくりを促進する	A(良好) 令和6年3月に「風通しの良い職場づくり」の研修を行い、ハラスメント防止に対する職員の意識向上を図った。

#### ○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

令和5年度の本校の達成状況は良好であったと考えているが、本年度は県内公立学校において重篤なわいせつ事案が複数あり心を痛めている。本校では令和6年度も職員主体による不祥事防止研修会等を通じて、引き続き不祥事防止に向けた指導を行い、不祥事ゼロを目指す。